

自 令和7年3月10日

至 令和7年3月10日

第1回遠別町議会(定例会)

[第1号]

遠 別 町

令和7年第1回遠別町議会（定例会） 会議録			
招 集 年 月 日	令和7年3月10日		
招 集 場 所	遠別町議会議場		
開、閉会日時 及び 宣 告	開 会	令和7年3月10日 午前10:00	
	議 長	小 森 嘉 孝	
	閉 会	令和7年3月10日 午後 3:42	
	議 長	小 森 嘉 孝	
応(不応)招議員 及び出席議員 並びに欠席議員 出席 7名 欠席 0名 (凡例) ○出席を示す △欠席を示す ×不応招を示す △公 公務欠席 を示す	議席番号	氏 名	出欠の別
	1	小 森 嘉 孝	○
	2	橋 本 初 昭	○
	3	大 石 幸 夫	○
	4	白 井 金 治	○
	5	山 本 仁 美	○
	6		
	7	山 下 悟	○
	8	白 幡 広 喜	○

会議録署名議員	4 番	白 井 金 治	5 番	山 本 仁 美
職務のため出席した者の職氏名	事務局長	柳 井 宏 紀	係 長	守 屋 佳 貴
地方自治法第121条の規定により出席を求めた者の職氏名	町 長	國 部 雅 人	代表監査委員	田 中 雄 志
	教育長職務代理者	小田中 紀 仁	農業委員会会長	妻 沼 浩
地方自治法第121条の規定により町長等の委任により出席した者の職氏名	副町長	富士原 栄 治	診療所事務長	齊 藤 晶 夫
	総務課長	坂 川 敏 文	教育次長	緒 方 章
	住民課長	西 尾 英 樹	農業委員会事務局長	小 森 正 広
	福祉課長	小 林 大 輔		
	経済課長	小 森 正 広		
	建設課長	高 田 博 之		
	出納室長	佐 藤 克 久		
議 事 日 程	議長は、本日の日程を別紙のとおり報告した。			
町長提出議案の題目	別紙のとおり			
議員提出議案の題目	別紙のとおり			
会 議 の 経 過	別紙のとおり			

第1回遠別町議会（定例会）議事日程

令和7年3月10日
午前10時00分 開議

第1号

日程 番号	議 件 番 号	議 件 名	提案者
		開会開議宣言	議 長
1		会議録署名議員指名の件	〃
2		会期決定の件	〃
3		諸般の報告	〃
4		行政報告	町 長
5	報告第 1号	令和6年度定期監査結果報告	議 長
6	報告第 2号	専決処分の報告について（工事請負契約の変更について）	町 長
7	同意第 1号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃
8	同意第 2号	教育委員会委員の任命について	〃
9	議案第 1号	工事請負契約の変更について（遠別中学校建設工事（建築主体工事））	〃
10	議案第 2号	遠別町職員の給与に関する条例の一部改正について	〃
11	議案第 3号	令和6年度遠別町一般会計補正予算（第10号）	〃
12	議案第 4号	令和6年度遠別町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	〃
13	議案第 5号	令和6年度遠別町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第5号）	〃
14	議案第 6号	令和6年度遠別町介護保険特別会計補正予算（第4号）	〃
15	議案第 7号	令和6年度遠別町簡易水道事業会計補正予算（第3号）	〃
16	議案第 8号	令和6年度遠別町下水道事業会計補正予算（第3号）	〃
17		令和7年度町政執行方針	〃
18		令和7年度教育行政執行方針	〃
19		令和7年度遠別町各会計予算案の概要について	〃

第1回遠別町議会（定例会）諸般の報告

- 1 町長から送付を受けた議案は、次のとおりである。
報告第2号 専決処分報告について（工事請負契約の変更について）
同意第1号 固定資産評価審査委員会委員の選任について 外1件
議案第1号 工事請負契約の変更について（遠別中学校建設工事（建築主体工事））
外22件
- 2 議長から提出する議案は、次のとおりである。
発議第2号 議員派遣について
- 3 議員から提出された意見書案は、次のとおりである。
意見案第1号 えん罪被害者を速やかに救済するために再審法改正を求める意見書 外1件
- 4 議員から提出された議案は、次のとおりである。
発議第1号 遠別町議会の個人情報保護に関する条例の一部改正について
- 5 監査委員から送付を受けた報告は、次のとおりである。
(1) 報告第1号 令和6年度定期監査結果報告
(2) 令和6年度11月分、12月分、1月分の例月現金出納検査結果については、別紙1、別紙2、別紙3のとおりである。
- 6 本会議に説明のため、地方自治法第121条の規定により出席する者は、別紙4のとおりである。
- 7 本会議に職務のため出席する事務局職員は、次のとおりである。
事務局長 柳井宏紀
係長 守屋佳貴
- 8 その他
1月6日 令和7年遠別町新年交礼会に議長外議員多数出席
1月7日 令和7年遠別町消防団出初式に議長外議員全員出席
1月12日 令和7年遠別町20歳を祝う会に議長外議員全員出席
1月17日 令和7年遠別商工会新年宴会に議長出席
2月4日 市町村長と市町村議会議長との意見交換会に出席のため議長初山別村に出張
2月17日 留萌管内町村議長会臨時総会に出席のため議長羽幌町に出張
3月1日 北海道遠別農業高等学校卒業証書授与式に議長出席

会議の経過

令和7年3月10日

開会・開議	議長	<p>小森嘉孝君</p> <p>おはようございます。令和7年第1回遠別町議会定例会の開会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。議員各位には公私極めて御多忙のところ出席を賜り、厚くお礼申し上げます。本定例会は、新年度の執行方針並びに予算を審議する重要な議会であります。町政の運営方針につきましては、後ほど町長から説明がありますが、議会といたしましては、全町民の見地から十分に審議を尽くし、町民の要望を町の諸施策に反映すべく努力する所存でございます。本日からの本定例会につきましては、議員各位におかれましては、議会運営に特段の御協力を賜りますようお願い申し上げます。開会の御挨拶といたします。なお、発言の際にはマスクを外して発言をお願いいたします。また、議場内が暑く感じられる方は、上着を脱いでいただいても結構でございます。ただいまから、令和7年第1回遠別町議会定例会を開会します。本日の出席議員は7名全員であります。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。</p>
日程第1	議長	<p>小森嘉孝君</p> <p>日程第1会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は会議規則第119条の規定により、議長において4番白井金治君、5番山本仁美君を指名します。</p>
日程第2	議長	<p>小森嘉孝君</p> <p>日程第2、会期決定の件を議題とします。暫時休憩します。</p>
		<p>休憩（10：02）</p> <p>再開（10：05）</p>
	議長	<p>小森嘉孝君</p> <p>休憩を解き本会議を再開します。お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から3月17日までの8日間としたいと思いますが、これにご異議ありませんか。</p>
		<p>（「異議なし」との声あり）</p>
	議長	<p>小森嘉孝君</p> <p>異議なしと認めます。したがって会期は本日から3月17日までの8日間と決しました。</p>
日程第3	議長	<p>小森嘉孝君</p> <p>日程第3、諸般の報告を行います。議長としての報告は、印刷し、配付しているとおりであります。以上で諸般の報告を終わります。</p>

日程第4	議長	<p>小森嘉孝君</p> <p>日程第4、行政報告を行います。町長より発言を求められておりますので、これを許します。町長國部雅人君。</p>
	町長	<p>國部雅人君</p> <p>皆さんおはようございます。第1回遠別町議会定例会を招集しましたところ、議員の皆様には事節柄何かと御多忙の中、御参集賜り厚くお礼申し上げます。それでは、行政報告をさせていただきます。1点目は、遠別町国民健康保険診療所常勤医師の採用について申し上げます。令和7年4月1日付で診療所所長として、一井雄二医師を採用させていただきます。一井医師は、兵庫県出身の66歳で、平成23年に北海道大学医学部を卒業、兵庫県明石回生病院、佐呂間町立クリニックさろま院長などを歴任され、現在は新得町の社会医療法人北斗新得クリニックの院長として勤務されております。4月からの診療体制につきましては、一井医師が所長、江橋医師が副所長として、医師2名体制により、主に内科などの診療業務を行う予定となっております。今後につきましても、町民の皆様への安定した診療提供ができるよう尽力してまいりますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>2点目は、北吹雪の製造終了について申し上げます。遠別町の特産品である北吹雪については、平成7年から旭川市の高砂酒造株式会社により製造され、北限のもち米を使用した純米酒として長きにわたり町内外問わず愛されてきました。高砂酒造より、「これまで、ふるさと納税の返礼品や記念酒の取組み、販売促進対策やPRなどを通じ、町の協力をいただきながら生産してきましたが、全般的に見ても日本酒離れが進み、販売状況は非常に厳しく、経営上、終買に向けて進めていかなければならない」との報告を受けておりました。先月、高砂酒造に出向き、継続の可能性を含め近況を伺ってまいりましたが、過去にも、名寄市と黒松内町も同様にもち米純米酒の生産を終えており、状況は非常に厳しく、会社としても取捨選択しなければならず、苦渋の決断であると伺いました。当初より契約等についても交わしていないこともあり、非常に残念ではありますが、会社の意向については、過去の経緯も含め尊重しなければならないところであります。現在の予定としては、令和7年度は節目の30周年に当たるため、記念酒の販売を計画しており、醸造済みの製品は約1年での完売を見込んでおります。高砂酒造からは、地元産の原料を用いた新たな商品開発についての取組の提案をいただいております。今後の対応について協議してまいりました。今後は、内部でも検討し、町民の皆様、議員各位の知恵をいただきながら進めてまいりたいと考えて</p>

		<p>おりますので、御理解のほどよろしくお願いいたします。3点目は、有限会社遠別町酪農振興公社の解散について申し上げます。遠別町酪農振興公社は、平成15年2月に設立され、今年度まで預託事業を主として運営をしておりましたが、酪農業は依然として厳しい状況が続き、酪農家の減少に伴う預託頭数の減少、施設の老朽化に伴う設備投資と費用対効果、また、ヒグマの出没による作業員のけがにより、牧場経営が困難な状況でありました。去る1月28日に臨時総会が開催され、先の理由により解散に係る議案が決議されました。精算に係る資産については、牧場として売却を進めているところであり、精算金の処理に伴う解散時期は現在のところ確定しておりませんが、町の出資金については27口、135万円は全額返還されます。また、預託していた酪農家については、公社において既に取りまとめを終えており、天塩町へ預託すると報告を受けております。4点目は、令和7年度北海道遠別農業高等学校入学者の出願状況について申し上げます。令和7年度北海道公立高等学校の最終出願状況が、2月28日に北海道教育委員会から発表され、遠別農業高等学校への推薦及び一般入試の出願者数は宮崎県、愛知県を含めた道内外各地域から17名の出願があったと報告がありました。全国的な少子化により、中学校卒業生が減少する中、昨年と比較すると4名多い結果となっており、遠別農業高等学校、遠別農業高等学校教育振興会、教育委員会が一体となった生徒募集活動を早い段階から進めていたことが要因であると聞いております。遠別農業高等学校の生徒募集活動として、留萌管内や宗谷管内はもとより、道内外へポスターやパンフレットの配布をしていることで、全国から生徒が集まっていることから、今後も遠別農業高等学校、遠別農業高等学校教育振興会と教育委員会が連携し、地域の特色を生かしたPRに努め、地域社会と連携した高校教育推進に向け、遠別町として支援してまいります。私からの行政報告は、以上で終わります。本定例会の提出案件は、報告2件、同意2件、議案23件であります。御審議の上、原案のとおり議決賜りますようよろしくお願いいたします。</p>
	議長	<p>小森嘉孝君 以上で行政報告を終わります。</p>
日程第5	議長	<p>小森嘉孝君 日程第5、報告第1号、令和6年度定期監査結果報告を議題とします。本報告は監査委員から提出されております印刷配布のとおりでありますので、特に質疑がなければ報告済みとしてよろしいですか。</p>

		(「異議なし」との声あり)
	議長	小森嘉孝君 それでは、報告第1号は報告済といたします。
日程第6	議長	小森嘉孝君 日程第6、報告第2号、専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)を議題とします。提案理由及び内容の説明を求めます。建設課長高田博之君。
	建設課長	高田博之君 ただいま上程されました報告第2号、専決処分の報告について、内容の説明をいたします。 説明(記載省略)
	議長	小森嘉孝君 これより本案に対する質疑を行います。
		(「なし」との声あり)
	議長	小森嘉孝君 以上で、本案に対する質疑は終わります。お諮りいたします。報告第2号、討論省略、採決してよろしいですか。
		(「異議なし」との声あり)
	議長	小森嘉孝君 異議なしと認めます。報告第2号について、承認することに賛成の諸君の起立を求めます。
		(全員起立)
	議長	小森嘉孝君 起立全員であります。よって、報告第2号は承認することに決定しました。暫時休憩します。
		休憩(10:17) 再開(10:18)
日程第7	議長	小森嘉孝君 休憩を解き、本会議を再開します。日程第7、同意第1号、固定資産評価審査委員会委員の選任についてを議題とします。提案理由及び内容の説明を求めます。総務課長坂川敏文君。
	総務課長	坂川敏文君 ただいま上程されました同意第1号、固定資産評価審査委員会委員の選任について、提案理由及び内容の御説明をいたします。 説明(記載省略)
	議長	小森嘉孝君 これより本案に対する質疑を行います。
		(「なし」との声あり)

	議長	小森嘉孝君 以上で、本案に対する質疑は終わります。お諮りいたします。同意第1号、討論省略、採決してよろしいですか。 (「異議なし」との声あり)
	議長	小森嘉孝君 異議なしと認めます。同意第1号について、原案に賛成の諸君の起立を求めます。 (全員起立)
	議長	小森嘉孝君 起立全員であります。したがって、同意第1号は原案のとおり可決されました。暫時休憩します。
		休憩(10:20) 再開(10:21)
日程第8	議長	小森嘉孝君 休憩を解き、本会議を再開します。日程第8、同意第2号、教育委員会委員の任命についてを議題とします。提案理由及び内容の説明を求めます。総務課長坂川敏文君。
	総務課長	坂川敏文君 ただいま上程されました同意第2号、教育委員会委員の任命について、提案理由及び内容の御説明をいたします。 説明(記載省略)
	議長	小森嘉孝君 これより質疑に入るわけですが、人事案件であり、先例に習い討論を省略し、直ちに採決に入りたいと思います。これに御異議ありませんか。 (「異議なし」との声あり)
	議長	小森嘉孝君 異議なしと認めます。これより、同意第2号について採決を行いますが、その方法は無記名投票をもって行いますので宣告いたします。これより無記名投票を行います。議場の出入口を閉めます。 (議場閉鎖)
	議長	小森嘉孝君 ただいまの出席議員は6名です。次に立会人を指名します。会議規則第31条第2項の規定により、立会人に4番白井金治君、5番山本仁美君を指名します。投票用紙を配ります。投票用紙の記入は○×方式で行います。本案に賛成の方は○、反対の方は×と投票用紙に記入願います。また、白票は会議規則第80条の規定により、否とみなします。

	(投票用紙配付)
議長	小森嘉孝君 投票用紙の配付漏れはありませんか。
	(「なし」との声あり)
議長	小森嘉孝君 配付漏れなしと認めます。投票箱を点検します。
	(投票箱の点検)
議長	小森嘉孝君 異状なしと認めます。投票は単記無記名です。投票に当たっては、事務局長に点呼させますので、呼ばれた議員は順次、投票用紙に○×を記入の上、投票してください。
事務局長	柳井宏紀君 橋本初昭議員。
	(投票)
事務局長	柳井宏紀君 大石幸夫議員。
	(投票)
事務局長	柳井宏紀君 白井金治議員。
	(投票)
事務局長	柳井宏紀君 山本仁美議員。
	(投票)
事務局長	柳井宏紀君 山下悟議員。
	(投票)
事務局長	柳井宏紀君 白幡広喜議員。
	(投票)
議長	小森嘉孝君 投票漏れはありませんか。
	(「なし」との声あり)
議長	小森嘉孝君 投票漏れなしと認めます。投票を終わります。開票を行います。立会人の立ち会いを願います。
	(開票)
議長	小森嘉孝君 開票の結果を報告します。投票総数6票。投票総数の内、有効投票

		6票、有効投票の内、賛成6票です。以上のとおり、賛成が全員であります。したがって、同意第2号は、原案のとおり同意することに決しました。議場の出入口を開きます。
		(議場開放)
日程第9	議長	小森嘉孝君 日程第9、議案第1号、工事請負契約の変更について(遠別中学校建設工事(建築主体工事))を議題とします。提案理由及び内容の説明を求めます。建設課長高田博之君。
	建設課長	高田博之君 だいま上程されました、議案第1号、工事請負契約の変更について、提案理由及び内容の説明をいたします。 説明(記載省略)
	議長	小森嘉孝君 これより本案に対する質疑を行います。
		(「なし」との声あり)
	議長	小森嘉孝君 以上で、本案に対する質疑は終わります。お諮りいたします。議案第1号、討論省略、採決してよろしいですか。
		(「異議なし」との声あり)
	議長	小森嘉孝君 異議なしと認めます。議案第1号について、原案に賛成の諸君の起立を求めます。
		(全員起立)
	議長	小森嘉孝君 起立全員であります。したがって、議案第1号は原案のとおり可決されました。
日程第10	議長	小森嘉孝君 日程第10、議案第2号、遠別町職員の給与に関する条例の一部改正についてを議題とします。提案理由及び内容の説明を求めます。総務課長坂川敏文君。
	総務課長	坂川敏文君 ただいま上程されました、議案第2号、遠別町職員の給与に関する条例の一部改正について、提案理由及び内容の御説明をいたします。 説明(記載省略)
	議長	小森嘉孝君 これより本案に対する質疑を行います。2番橋本初昭君。
	2番	橋本初昭君 それでは、1点だけ。管理職特別勤務手当、17条の2の第2項で、

	改正前が午前0時から午前5時までが、午後10時から翌日の午前5時までと、この2時間の変更の意図は何でしょうか。
議長	小森嘉孝君 坂川総務課長。
総務課長	坂川敏文君 今回の改正につきましては、国の人事院勧告に伴い準拠した改正であります。今回、時間が延長されたということに関しましては、国のほうでも緊急対応等の勤務実態に応じた適切な処遇を確保することでの改正というふうな内容となっております。
議長	小森嘉孝君 よろしいですか。
	(「はい」との声あり)
議長	小森嘉孝君 ほかに質疑ございませんか。以上で、本案に対する質疑は終わります。お諮りいたします。議案第2号、討論省略、採決してよろしいですか。
	(「異議なし」との声あり)
議長	小森嘉孝君 異議なしと認めます。議案第1号について、原案に賛成の諸君の起立を求めます。
	(全員起立)
議長	小森嘉孝君 起立全員であります。したがって、議案第1号は原案のとおり可決されました。暫時休憩いたします。
	休憩(10:40) 再開(10:55)
日程第11	議長 小森嘉孝君 休憩を解き、本会議を再開します。日程第11、議案第3号、令和6年度遠別町一般会計補正予算(第10号)を議題とします。提案理由及び内容の説明を求めます。総務課長坂川敏文君。
	総務課長 坂川敏文君 ただいま上程されました、議案第3号、令和6年度遠別町一般会計補正予算(第10号)について、提案理由及び内容の御説明をいたします。 説明(記載省略)
	議長 小森嘉孝君 これより本案に対する質疑を行います。歳出から行います。1款議会費から2款総務費まで、19頁から24頁までの6頁です。8番白

	幡広喜君。
8 番	白幡広喜君 ちょっと確認したいんですが、3 款 3 目、出産子育て応援給付金。母子手帳交付した妊婦につき 5 万円を給付するというのですが、例えば、母子手帳をもらって、転勤やその他で町を離れてしまう場合も、交付すれば 5 万円は給付していただけるという解釈でよろしいですか。
議長	小森嘉孝君 小林福祉課長。
福祉課長	小林大輔君 母子手帳交付に伴いまして、面談を行いまして、その時点で給付の対象というふうになります。その後、転出されていても返還等はございません。以上です。
議長	小森嘉孝君 よろしいですか。
	(「分かりました」との声あり)
議長	小森嘉孝君 ほかに質疑ございませんか。2 番橋本初昭君。
2 番	橋本初昭君 2 6 頁、予防費、委託で 7 6 7 万 6, 0 0 0 円。減額になってはいますけども、具体的に減額した項目、予算額、人員をお知らせください。
議長	小森嘉孝君 小林福祉課長。
福祉課長	小林大輔君 お答えします。まず、1 2 節、委託料の部分につきましては、主に今回、減額した部分につきましては、インフルエンザの部分と新型コロナの予防接種に係る部分でございます。まず、インフルエンザにつきましては、予定していた数字としましては、インフルエンザ、高齢者 5 1 0 人、子供 1 6 0 人、一般の方 5 1 0 人に対しまして、実際に接種された方が、インフルエンザ、高齢者から 3 9 2 人、子供に関しては 1 0 1 人、一般に関しては 2 9 9 人という形になっておまして、それぞれの補正額が高齢者から 4 4 万 1, 0 0 0 円減、子供が 2 6 万 7, 0 0 0 円の減、一般の方が 6 1 万 5, 0 0 0 円の減となっております。また、新型コロナにつきましては、当初 5 3 5 人を見込んでおりましたが、実際には 1 5 9 人の方に受けていただいております。減額としましては、合計しまして 6 3 5 万 3, 0 0 0 円の減額となっております。以上です。
議長	小森嘉孝君

	よろしいですか。2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 分かりました。一番大きいのは、やっぱり新型コロナで635万円。それで、この減額に対して、内部で、今後の予算の在り方については、内部検討しています。
議長	小森嘉孝君 小林福祉課長。
福祉課長	小林大輔君 今回の新型コロナの検証としましては、あまり打っていただけなかった方としましては、これまでの予防接種の疲れであったり、副反応への恐れ、または、接種時期の直前に、遠別町内、若干コロナが流行っていた時期に重なりまして、数字が少なくなってきたと考えております。次年度以降につきましては、これらを勘案しまして、接種数、接種率につきましては落としていきたいと考えております。以上です。
議長	小森嘉孝君 ほかに質疑ございませんか。5番山本仁美君。
5番	山本仁美君 24頁の民生費、社会福祉総務費です。この、留萌北部地域子ども発達支援センター負担金72万1,000円増の、この内容、ちょっと教えてください。
議長	小森嘉孝君 小林福祉課長。
福祉課長	小林大輔君 負担金の増額の要因であります。先ほど説明ありましたとおり、燃料費等の高騰による部分と、併せまして利用者減によります給付費が減少しております。その部分が主な理由となっております。以上です。
議長	小森嘉孝君 よろしいですか。
	(「分かりました」との声あり)
議長	小森嘉孝君 ほかに質疑ございませんか。続いて6款農林水産業費から8款土木費まで、27頁から31頁の5頁です。2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 27頁、堆肥製造センター運営指定管理料102万9,000円。人件費、燃料費、光熱水費増額のため。個別に額を教えてください。

議長	小森嘉孝君 小森経済課長。
経済課長	小森正広君 まず、人件費につきましては、51万3,000円の増額となっております。燃料費につきましては、27万9,000円、というところが主な額となっております。
	(「光熱水費言いました」との声あり)
議長	小森嘉孝君 燃料費と一緒に。
経済課長	小森正広君 電気の部分につきましては、1万9,000円です。以上です。
	(「合わないよ」との声あり)
議長	小森嘉孝君 金額合わないけどいいのか。残りはいいの。
経済課長	小森正広君 先ほど、労務費につきましては51万3,000円、燃料に関しては28万円。電気ほか、共済費、含めまして、14万2,000円になります。合計で93万5,000円の消費税分ということになります。
議長	小森嘉孝君 よろしいですか。2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 102万9,000円の増額でしょう。今言ったら、人件費が51万3,000円、燃料費が28万円、光熱水費が14万2,000円、合わせたら93万5,000円しかないですけど。102万9,000円の増額ではない。
議長	小森嘉孝君 小森経済課長。
経済課長	小森正広君 この差額分につきましては、消費税分の10%分入っております。
議長	小森嘉孝君 2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 ちょっと待つて。ちょっと休憩していい。何回もやんなきゃならないから。
議長	小森嘉孝君 暫時休憩します。

	休憩（１１：３３） 再開（１１：３４）
議長	小森嘉孝君 休憩を解き、本会議を再開します。小森経済課長。
経済課長	小森正広君 申し訳ございません。消費税含めた金額を申し上げます。労務費につきましては、５６万４、３００円、燃料、軽油に関しましては３０万８、０００円、電気ほか、共済費関係を含めまして１５万６、２００円、合計として１０２万８、５００円で、丸めまして１０２万９、０００円の増額となっております。
議長	小森嘉孝君 よろしいですか。２番橋本初昭君。
２番	橋本初昭君 人件費５６万４、０００円、具体的な中身は何ですか。
議長	小森嘉孝君 小森経済課長。
経済課長	小森正広君 こちらにつきましては、令和３年度の北海道の労務単価になっておりまして１万７、３００円から、令和６年度の労務単価でいきますと２万円になります。差額は２、７００円増加している部分であります。 （「これ３回目か、もう１回」との声あり）
議長	小森嘉孝君 ３回目。じゃあ、認めます。橋本初昭君。
２番	橋本初昭君 この１万７、３００円の労務単価、令和３年。今は令和６年だよ。４年、５年ってなかったの。
議長	小森嘉孝君 小森経済課長。
経済課長	小森正広君 これ、指定管理でございまして、令和３年時点での労務単価で積み上げておりまして、大きく変わった場合につきましては、今回のように補正させていただいたというところで、令和３年時点での単価となっております。 （「もう３回目だもんね、全然、納得いかないんだけどね」との声あり）
議長	小森嘉孝君 休憩します。

	休憩（１１：３６） 再開（１１：３７）
議長	小森嘉孝君 休憩を解き、本会議を再開します。ほかに。２番橋本初昭君。
２番	橋本初昭君 ２７頁、林道橋梁点検診断業務委託料、これって指名競争入札ですか。
議長	小森嘉孝君 小森経済課長。
経済課長	小森正広君 はい、そのように実施しております。
議長	小森嘉孝君 ２番橋本初昭君。
２番	橋本初昭君 今、指名競争入札だったんですが、請負比率７８．５％、かなり低いんですけども、なぜここまでに落ちたっていう分析はしています。
議長	小森嘉孝君 小森経済課長。
経済課長	小森正広君 こちらについては、入札残ということで理解しております。分析までについてはしておりませんが、内容的に行えるかどうかという部分の確認はした上で、契約を結んでおります。
議長	小森嘉孝君 いいですか。２番橋本初昭君。
２番	橋本初昭君 ３回目ですけども、普通の入札時だと９０から９５なんですけど、これ、極端に、７８％って低いっていう、表向きに考えれば正当な競争が働いたっていう考え方でいいんですかね。普通に。そういう理解で。
議長	小森嘉孝君 小森経済課長。
経済課長	小森正広君 はい、そういう考え方もあると思いますが、あと、以前、５年に１回行うもんですから、その部分と業者も同じっていうこともあって、その分もあるのかなというふうに考えています。
	（「それは結果論でしょ。いいです。分かりました」との声あり）
議長	小森嘉孝君 ほかに質疑ございませんか。８番白幡広喜君。

8 番	白幡広喜君 29頁、商工費で、屋内こども遊戯場の厨房備品32万8,000円減、この内訳と、昨年4月下旬からオープンして、厨房何日くらい稼働しているのか、教えてください。
議長	小森嘉孝君 小森経済課長。
経済課長	小森正広君 まず、備品の内訳については、当初40万計上しておりまして、冷蔵庫、オープンレンジを主に導入する予定でございました。その中で、実施した上で、オープンレンジのみ、今回、6年度には購入いたしまして、利用実態含めまして委託のほうとも確認をしつつ、冷蔵庫につきましては、今回導入しなかったというところでございます。その上で、厨房の利用については、オープン時に一度、出店含めまして、一度開設というか運営行いましたが、ちょっとその実績見ると、なかなかちょっと利用度的には少なかったもので、現状1回のみ利用となっております。
議長	小森嘉孝君 8番白幡広喜君。
8 番	白幡広喜君 オープンして、1日しか稼働していないということだと思うんですが、今後の見通しとしてどのように考えているのか、ちょっと再度お願いします。
議長	小森嘉孝君 小森経済課長。
経済課長	小森正広君 次年度につきましては、子どもの利用がやっぱり多いということもございましたので、その辺うまく厨房を使いながら、親子だとかそういう部分でも、ちょっとした料理含めて、料理ってまではいかないんですが、そういう部分の使い方含めまして、委託業者とも考えていきたいなというふうに思います。
議長	小森嘉孝君 8番白幡広喜君。
8 番	白幡広喜君 せっかくある施設を有効に使っていくような考えも必要だと思うんですが、その辺も含めて、今後検討していただきたいと思います。
議長	小森嘉孝君 関連。2番橋本初昭君。

2番	橋本初昭君 ただいまの、この施設の厨房機器、今、一旦したら白紙に戻す。冷蔵庫も今後も何も、購入の計画はない。一旦、ゼロに戻って、今後の運営の在り方を御検討する中で、再度検討していくっていう考え方でよろしいですか。
議長	小森嘉孝君 小森経済課長。
経済課長	小森正広君 今、厨房につきましては、本当の冷蔵のみのショーケース的なものは導入してあります。ある厨房機器を生かしながら、まず利用の方法を考えていくってところで、現時点では新たな設備的な導入ってというのは、現在のところは考えておりませんが、今後の運営上いろいろ必要であればまた考えて、より使っていただくっていう観点からも、導入については考えていきたいなと思います。
	(「分かりました。次年度でやりましょう」との声あり)
議長	小森嘉孝君 ほかに質疑ございませんか。2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 28頁、豊かな森づくり推進事業補助金、予算額に対して36.1%と大幅に減額になっていますが、内容は何でしょうか。
議長	小森嘉孝君 小森経済課長。
経済課長	小森正広君 造林施業面積が当初12ヘクタールございました。それが3.28ヘクタールに、大幅に減になったという状況であります。
議長	小森嘉孝君 2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 いやいや、面積が減ったのがいいんですよ。だから、どうして減ったのかって聞いている。
議長	小森嘉孝君 小森経済課長。
経済課長	小森正広君 これが、この事業当初、広葉樹植栽で予算化して事業計画立てておりましたが、受益者、森林所有者の意向もありまして、やはり育ちというのはやはり針葉樹、トドマツのほうを植えたいということもありまして、広葉樹の部分での取組の面積が減ったということが大きな理由であります。

議長	小森嘉孝君 ほかに質疑ございませんか。8款までです。2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 29頁、町道除排雪業務委託料6,000万の増なんですが、これは補正予算編成時の見込みと、今現在の見込み、乖離がありますかね。今の状況はどうなんでしょう。
議長	小森嘉孝君 高田建設課長。
建設課長	高田博之君 除排雪業務につきましては、補正後で1億5,000万の予算額になっております。今、実際、稼働している分で実績上がってきているのが3月7日までになっていまして、その分までで計算しますと、概算で1億3,200万円の稼働実績となっております。
	(「はい分かりました」との声あり)
議長	小森嘉孝君 ほかに質疑ございませんか。続いて、9款消防費から13款職員給与費まで、32頁から37頁の6頁です。8番白幡広喜君。
8番	白幡広喜君 10款教育費、スポットエアコン112万3,000減。これは、つけられなかったという解釈でよろしいですか。
議長	小森嘉孝君 34頁です。緒方教育次長。
教育次長	緒方章君 こちらに関しましては、こちら、最初うちのほうで見積もった、見積りの段階で使わせていただいたメーカーと別のメーカーが実導入になっております。機能分、それから冷やす面積等、同等のものということで、うちのほうで検査しておりますけれども、もともと入った台数、それから施工方法、施工場所は全て変わっておりません。金額的に入札をしたら安くなったということでございます。
議長	小森嘉孝君 よろしいですか。ほかに。2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 いいましたら、スポットエアコン、メーカーを見直したと。当初の見積もった予算計上してきたときのメーカーと違うメーカーを入れたっていう。
議長	小森嘉孝君 緒方教育次長。

教育次長	緒方章君 結果的にはそうなるんですけども、設計の中で同等品ということで、機能が同じであれば構いませんということで縛ってありますので、その中で業者さんの得意なものが入ってきたというような形になっております。
議長	小森嘉孝君 2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 いやいいんですよ。同等品で。ただ、予算的に、これは半分なんですよ。例えたら、予算見積り段階で、かなり甘い見積りをしたっていう見方しかできないんですよ。これが5万、10万落ちたの分かるんですよ。半分ですからね。いかに曖昧っていうか、見積りの段階で甘い予算計上したっていう見方もできると思うんですが、そこら辺の考え方どうでしょう。
議長	小森嘉孝君 緒方教育次長。
教育次長	緒方章君 うちのほうとしましては、入れてすぐ壊れるですとか、壊れたときのメンテナンスも含めて、ある程度のちゃんとしたメーカーということで見積りを、設計のほうを物品選定から含めてさせていただいて、その部分に関しては、メーカーで責任を持っていただくっていうような形の中で見積り合わせを行った結果、あくまでも結果論になってしまうものにはなりますが、決して見積りが甘かったというわけではないと考えておりますが、実質、この数字を見ますとそう言われても仕方ない部分はあるんですが、うちのほうでは日本メーカーの正式なものを定価の分で見積もっている部分での差がこうなったということになっております。
	(「いやもう質問できないからいいけどさ」との声あり)
議長	小森嘉孝君 よろしいですか。
	(「いや、よろしくはないけど」との声あり)
議長	小森嘉孝君 ほかに質疑ございませんか。2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 教育振興会、75万に対して52万円、23万円の減額になりましたが、この主な理由は何でしょう。
議長	小森嘉孝君 緒方教育次長。

教育次長	緒方章君 こちらの主な理由としましては、海外研修費のほうが152万8,000円の減額、それから……。 (「違いますよ」との声あり)
議長	小森嘉孝君 ちょっと待ってよ。教育振興会。
教育次長	緒方章君 申し訳ございません。
議長	小森嘉孝君 23万でしょう。33頁の教育振興会の。緒方教育次長。
教育次長	緒方章君 申し訳ございません。先生方の研修費に対する旅費等がなくなっていったというのが主な要因でございます。コロナ禍からえましてウェブ会議が多くなって、ウェブでの研修が多くなったということで、旅費のほうが減ったというのが主な原因でございます。
議長	小森嘉孝君 2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 分かりました。ウェブ会議になったということで、じゃ23万、具体的な当初予算では、どこに行くという研修旅費だったのでしょか。
議長	小森嘉孝君 緒方教育次長。
教育次長	緒方章君 具体的な場所は押さえておりますので、後ほど回答させていただきたいと思います。 (「はい分かりました」との声あり)
議長	小森嘉孝君 ほかに質疑ございませんか。2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 33頁、中学校費のバス借上料、これ176万5,000円ですか、減額になっています。結構大きいんですが、主な理由は何でしょう。
議長	小森嘉孝君 緒方教育次長。
教育次長	緒方章君 こちらにつきましては、中体連だとか、それから全道大会に関するバスの旅費が、予定よりも少なかったということになっております。

議長	小森嘉孝君 よろしいですか。2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 34頁、遠別町PTA連合会補助金、20万のところが3万で終わっている。17万減、この要因は何でしょう。
議長	小森嘉孝君 緒方教育次長。
教育次長	緒方章君 こちらのほうにつきましては、PTAの活動が少なかったとしか聞いておりませんでしたので、それ以上になりますと、ちょっと調べさせていただきたいと思います。
議長	小森嘉孝君 2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 それはそれでいいんですけど、じゃあ、具体的にどの項目が活動がなかったから落ちましたと、補正予算上げるのであれば、当然そういうものを調べて上げるんですよ。17万という数字が減額になってあるわけですから。まあそれは後でいいですから、紙面でいいですから御報告願います。
議長	小森嘉孝君 じゃあ、後で整理して示していただきたいと思います。ほかに質疑はございませんか。2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 生涯学習センター運営費、指定管理料、先ほどと同じで、人件費、燃料費、光熱水費、内訳を教えてください。
議長	小森嘉孝君 緒方教育次長。
教育次長	緒方章君 まず、燃料費のほうにつきましては46万5,000円、それから光熱水費につきましては228万8,000円、それから人件費につきましては84万3,000円となっております。
議長	小森嘉孝君 2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 人件費の84万3,000円、具体的に何の人件費でしょう。
議長	小森嘉孝君 緒方教育次長。

教育次長	緒方章君 人件費につきましては、主に管理業務委託、管理業務料ということになっております。管理業務の内容につきましては、マナピィを運営するに当たっての管理人の賃金というふうになっております。
議長	小森嘉孝君 2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 そしたら、土曜日曜の日直、業務委託ですよ。いや、突き詰めれば人件費なんだろうが、管理委託業務の経費の増っていう解釈でいいんですか。
議長	小森嘉孝君 緒方教育次長。
教育次長	緒方章君 はい、突き詰めれば人件費になっていくかもしれませんが、解釈としてはそれで構わないと思います。議員おっしゃる通りです。
議長	小森嘉孝君 2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 会計としては、逆だと思っんですよね。人件費じゃなくて、管理業務委託の増のほうが分かりやすいんですよ。人件費ったら、あれあそこにとの、ということをお願いしたい。
議長	小森嘉孝君 緒方教育次長。
教育次長	緒方章君 今後とも気をつけながらいきたいと思っんですので、よろしくお願っいたします。
議長	小森嘉孝君 2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 給食センターの修繕料、149万6,000円の増額、先ほど冷蔵庫の修繕という説明がありましたが、これから議決になって、発注して2週間、3週間ないんですけど、できるんでしょうか、内容として。
議長	小森嘉孝君 緒方教育次長。
教育次長	緒方章君 これにつきましては、議決後、速やかに修繕できるように、事務方のほうの準備も今は進めている段階です。

議長	小森嘉孝君 2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 じゃあある意味じゃ、見積もった段階で、業者との間で2週間なら2週間でできるっていうことになっていると思うんですが、じゃあ今の現状の冷蔵庫ってのは全く使っていない。
議長	小森嘉孝君 緒方教育次長。
教育次長	緒方章君 今、現状につきましては、冬期間ということもありまして、戸を開けばなしにするなどして、温度を保っている状態です。それ以上、保てないものに関しては、予備の冷蔵庫がありますので、そちらのほうで保管しつつ、運用しているという状態でございます。
議長	小森嘉孝君 ほかに質疑ございませんか。以上で、歳出の質疑は終わります。暫時休憩いたします。昼食のため、1時15分まで昼食のため休憩いたします。
	休憩（11：58） 再開（13：15）
議長	小森嘉孝君 休憩を解き、会議を再開します。休憩前の橋本議員の質問に対する答弁を求めます。緒方教育次長。
教育次長	緒方章君 橋本議員の質問にお答えさせていただきたいと思います。初めに、振興会の関係でございます。教育振興会につきましては、小中5名ずつ札幌・旭川など、合計で28万円を見ているということでございます。続きまして、遠別小PTA連合会補助金のほうの金額ですが、そちらにつきましては、PTA連合会の研究大会をやる予定で動いております。これは、毎年1回行っておりますが、今年、留萌管内のPTA連合会の研究大会が遠別町で開催されるということで、抱き合わせで開催されました。それに伴い、講師料を含め、研究大会の経費が支出しなかったということでございます。以上です。
議長	小森嘉孝君 よろしいですね。次に、歳入についての質疑を行います。1款町税から14款国庫支出金まで、11頁から13頁の3頁です。2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 13頁、社会資本整備総合交付金、除雪なんですけど、歳出には6、

	<p>000万も増額補正しているんですが、予算額1,300万円に対して540万5,000円しか認められていないというこの理由として、積算内容をお知らせください。</p>
議長	<p>小森嘉孝君 高田建設課長。</p>
建設課長	<p>高田博之君 社会資本整備総合交付金につきましては、今回、国からの配分額が減っているということで、減額となっております。除雪経費につきましては、現在までの除雪経費になりますが、補助金につきましては、当初配分額の追加まだ予定されておきませんので、当初配分額での補正ということで減額となっております。</p>
議長	<p>小森嘉孝君 よろしいですか。</p>
	<p>(「ちょっと、もう1点だけ」との声あり)</p>
議長	<p>小森嘉孝君 2番橋本初昭君。</p>
2番	<p>橋本初昭君 そうしますと、途中で除雪経費が増えても、何ら考慮されないという考え方でよろしいのでしょうか。</p>
議長	<p>小森嘉孝君 高田建設課長。</p>
建設課長	<p>高田博之君 除雪経費の執行状況によって、国のほうから調査が来ます。それによって、全国的なものですので、それを行った結果、追加配分があるなしということが判断されますので、現在のところ、追加配分の連絡はないということになっております。</p>
	<p>(「もう1点だけいいですか」との声あり)</p>
議長	<p>小森嘉孝君 2番橋本初昭君。</p>
2番	<p>橋本初昭君 そうしたら、今年、東北地方がすごい豪雪で、結局、そっちに持っていかれたっていう考え方もできるのでしょうか。</p>
議長	<p>小森嘉孝君 高田建設課長。</p>
建設課長	<p>高田博之君 追加配分の連絡、一切まだ連絡来ていないということは、全道的な連絡も何もない状況ですので、これからはもしかしたら、遠別町にも配分あるかもしれません。ちなみに、臨時交付金、社会資本整備じゃな</p>

	<p>くて、大雪に伴う臨時交付金の関係の調査も、今来ていますので、そちらのほうがあるかもしれないですけども、ないかもしれないということで、ちょっと不明というか、そういう状況になっております。</p>
議長	<p>小森嘉孝君 よろしいですか。ほかに質問ございませんか。2番橋本初昭君。</p>
2番	<p>橋本初昭君 同じく13頁、教育費の国庫補助金、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金、これ、内容をちょっと教えていただけますか。</p>
議長	<p>小森嘉孝君 緒方教育次長。</p>
教育次長	<p>緒方章君 これは、ZEB補助金というもので、当初、中学校のほう为基础とそれから断熱、基礎に伴う断熱材の工事をする予定でありましたが、杭打ち工事で終わったということで、そのままだとZEBの対象にはならなかったこともありまして、建設サイドと打ち合わせをしまして、断熱材だけ仕入れていただきました。その断熱材に対する補助額というふうになっております。</p>
議長	<p>小森嘉孝君 2番橋本初昭君。</p>
2番	<p>橋本初昭君 施工はしないけど、断熱材の購入費に対しての補助金っていう理解でよろしいですか。</p>
議長	<p>小森嘉孝君 緒方教育次長。</p>
教育次長	<p>緒方章君 はい、そのとおりでございます。</p>
議長	<p>小森嘉孝君 ほかに質疑ございませんか。続いて、15款道支出金から16款財産収入まで、13頁から15頁までの3頁です。続いて、17款寄附金から21款町債まで、16頁から18頁までの3頁です。2番橋本初昭君。</p>
2番	<p>橋本初昭君 16頁、遠別町まち・ひと・しごと創生応援寄附金、190万円。これは、個人じゃなくて、法人、会社が収めてくれた寄附金だと思うんですが、法人名と金額、教えてくださいませんか。</p>
議長	<p>小森嘉孝君 小森経済課長。</p>

経済課長	小森正広君 法人名は、後ほど御報告させていただきますが、5件の企業からいただいております。
議長	小森嘉孝君 あと金額。 (「5件だから190万でしょ」との声あり)
経済課長	小森正広君 その内訳はいいですね。 (「だから逆に法人名を先に教えてほしいんだよね」との声あり)
経済課長	小森正広君 これは、ちょっと後ほど。 (「後ほどじゃなくて、今」との声あり)
経済課長	小森正広君 はい、分かりました。ちょっと、お時間ください。
議長	小森嘉孝君 暫時休憩します。 休憩(13:21) 再開(13:25)
議長	小森嘉孝君 休憩を解き、会議を再開します。小森経済課長。
経済課長	小森正広君 それでは、先ほどの5件につきましてお知らせします。まず、ホクレン農業共同組合連合会が100万円。続きまして、株式会社北海道グリーンメンテナンスが20万円。続きまして、株式会社セイコーマートが20万円。続きまして、日本都市設計株式会社が30万円。最後に、株式会社HDCが20万円。以上です。
議長	小森嘉孝君 よろしいですか。2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 グリーンメンテナンス、セイコーマート、ホクレン、都市設計、HDCって言いましたっけ。都市設計って言いましたら、何かうちに関係ありましたっけ。
議長	小森嘉孝君 小森経済課長。
経済課長	小森正広君 日本都市設計さんは、診療所の関係で関連して。 (「診療所、何やったっけ」との声あり)

議長	小森嘉孝君 高田建設課長。
建設課長	高田博之君 都市設計につきましては、診療所の設計、あと管理業務、あと、その以前に、公営住宅の設計も行っております。
議長	小森嘉孝君 よろしいですか。2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 じゃある意味じゃ、お世話になったからっていう意味ですかね。寄附金の目的は。
議長	小森嘉孝君 暫時休憩します。
	休憩（13：27） 再開（13：29）
議長	小森嘉孝君 休憩を解き、会議を再開します。小森経済課長。
経済課長	小森正広君 これにつきましては、企業版ふるさと納税とはっていう事柄がありまして、国が制定した地方公共団体、地方創生プロジェクトに対して、企業が寄附を行った場合は、法人関係税から税率控除される仕組みというものがあります。それも踏まえまして、最大9割が軽減されるなど、活用しやすい制度になっているというふうに書いております。
議長	小森嘉孝君 2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 これで最後にします。私、そんなこと聞いていません。寄附法の趣旨。何で寄附をしたのか、町の振興の役立ててくださいとか、何に役立ててください、それだけでいいですよ。誰も企業版の趣旨の説明なんか聞いていません。もう1回、答弁願います。
議長	小森嘉孝君 再答弁願います。小森経済課長。
	（「ちょっと待って」との声あり）
議長	小森嘉孝君 富士原副町長。
副町長	富士原栄治君 今の企業版ふるさと納税、日本都市設計さんについては、議員がおっしゃるように、町のほうの振興に役立てていただきたいということと、あと先ほど言ったように、診療所の設計等で町にいろいろお世話

	<p>になったっていう意味で寄附をされたと思っております。</p>
議長	<p>小森嘉孝君</p> <p>よろしいですか。ほかに質疑ありませんか。7番山下悟君。</p>
7番	<p>山下悟君</p> <p>同じ16ページのまちづくり応援寄附金なんですけども、参考までにお聞きしたいんですが、今回6,000万ということで、4,000万減額されていますけども、先ほどの歳出のほうでも、大体4割ぐらい減額されています。これって、何か取決めみたいなものってあるんでしょうか。同じような割合で減っているの、ちょっとそこが気になったんですけども。</p>
議長	<p>小森嘉孝君</p> <p>小森経済課長。</p>
経済課長	<p>小森正広君</p> <p>基本的には、まず寄附見込み額っていうのをまず出しまして、おおむね6,000万まではいかないと思うんですけども、まず設定させてもらいました。その中で、それぞれ返礼品に関しては25%っていう、町では決めております。委託料につきましても、収入額、見込み額の7.5%分計上させてもらっています。役務費に関係する部分、送料とかですが、これはちょっとオーナープランとか、昨年度からありますので、その部分の残り部分に対して、必要額分を差し引いた不用額分を削減しているというような形になっています。</p>
議長	<p>小森嘉孝君</p> <p>質問内容大丈夫ですか。答弁。坂川総務課長。</p>
総務課長	<p>坂川敏文君</p> <p>すみません。今、議員の質問については、寄附金が収入減ると積立金が減っているのと同じ額なんですけども、どうですかっていう話ですよ。そこは、積立額と寄附金の額は同額にしております。その見込みが、今6,000万になるということで、同額の4,000万ずつの収入と歳出を減らしているということになりますので、御理解いただきたいと思っております。</p>
議長	<p>小森嘉孝君</p> <p>よろしいですか。ほかに質疑ございませんか。以上で、歳入の質疑は終わります。歳入歳出全般について質疑を行います。以上で、本案に対する質疑は終わります。お諮りいたします。議案第3号、討論省略、採決してよろしいですか。</p>
	<p>(「異議なし」との声あり)</p>
議長	<p>小森嘉孝君</p> <p>異議なしと認めます。議案第3号について、原案に賛成の諸君の起</p>

		立を求めます。
		(全員起立)
	議長	小森嘉孝君 起立全員であります。したがって、議案第3号は原案のとおり可決されました。
日程第12	議長	小森嘉孝君 日程第12、議案第4号、令和6年度遠別町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)を議題とします。提案理由及び内容の説明を求めます。福祉課長小林大輔君。
	福祉課長	小林大輔君 ただいま上程されました議案第4号令和6年度遠別町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)につきまして、提案理由及び内容について御説明申し上げます。 説明(記載省略)
	議長	小森嘉孝君 これより、本案に対する質疑を行います。歳出について行います。1款総務費から8款諸支出金まで、6頁の1頁です。以上で、歳出の質疑は終わります。次に、歳入について質疑を行います。3款道支出金から5款繰入金まで、5頁の1頁です。歳入歳出全般について質疑を行います。2番橋本初昭君。
	2番	橋本初昭君 ちょっとお願いがあるんですけど、今回、補正はされていないんですが、国保全般の運営に関する事で、質問はだめでしょうか。
	議長	小森嘉孝君 暫時休憩します。
		休憩(13:38) 再開(13:42)
	議長	小森嘉孝君 休憩を解き、会議を再開します。橋本議員の質問でございますが、一応、関連質疑とみなし、受けたいと思います。答弁をお願いできますか。
		(「まだ質問してない」との声あり)
	議長	小森嘉孝君 まだ質問してない。2番橋本初昭君。
	2番	橋本初昭君 すみません。お許しいただいたので、昨年3月の定例会に、このままだと令和6年度の国保会計は税率を上げないともたないということで改正しました。それで、当初予算、国保保険税7,886万円。

	今現在、収入額幾らになっているかお教えてください。
議長	小森嘉孝君 小林福祉課長。
福祉課長	小林大輔君 お答えします。収入額という質問でしたけれども、調定額で御説明させていただきます。予算額7,800万円に對しまして、調定額9,000万円程度となっております。
	(「9,000万円」との声あり)
福祉課長	小林大輔君 9,000万円です。
議長	小森嘉孝君 よろしいですか。
	(「もう1問だけ」との声あり)
議長	小森嘉孝君 2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 そうしたらとりあえず、今、令和6年度の国保会計は運営上問題がないという解釈でよろしいでしょうか。
議長	小森嘉孝君 小林福祉課長。
福祉課長	小林大輔君 そのとおりでございます。
議長	小森嘉孝君 ほかに質疑ございませんか。歳入歳出全般について質疑を受けます。以上で、本案に対する質疑は終わります。お諮りいたします。議案第4号、討論省略、採決してよろしいですか。
	(「異議なし」との声あり)
議長	小森嘉孝君 異議なしと認めます。議案第4号について、原案に賛成の諸君の起立を求めます。
	(全員起立)
議長	小森嘉孝君 起立全員であります。したがって、議案第4号は原案のとおり可決されました。
日程第13	議長 小森嘉孝君 日程第13、議案第5号令和6年度遠別町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第5号)を議題とします。提案理由及び内容の説明を求めます。診療所事務長齊藤晶夫君。

診療所事務 長	齊藤晶夫君 ただいま上程になりました議案第5号令和6年度遠別町国民健康 保険診療所特別会計補正予算（第5号）につきまして、提案理由を御 説明申し上げます。 説明（記載省略）
議長	小森嘉孝君 これより、本案に対する質疑を行います。歳出について行います。 1款総務費から3款交際費まで、8頁から10頁までの3頁です。 （「なし」との声あり）
議長	小森嘉孝君 以上で、歳出の質疑は終わります。次に、歳入について質疑を行 います。1款診療収入から6款同支出金まで、5頁から7頁の3頁です。 2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 6款道支出金で診療所の道補助金、これは今年度限り。あと、もう 1つは予想していなかった収入なんですか。
議長	小森嘉孝君 齊藤診療所事務長。
診療所事務 長	齊藤晶夫君 まず、診療所費道補助金につきましては、新たに診療所の移行に際 しまして、へき地直営診療所運営費というものが交付されております。 これにつきまして、従来から交付されておりました直営診療施設 の上に特別に要した費用と併せまして予算計上をしておりましたが、 見込みの金額よりも多く、申し訳ございません。算定に関して当初の 見込みよりも多く交付されたことにより……。
議長	小森嘉孝君 答弁いいですか。終わりですか。追加答弁
診療所事務 長	齊藤晶夫君 大変申し訳ありません。病床機能再編支援事業費給付金につきまし ては、来年度以降も交付されます。交付につきましては、交付される ということは予想しておりましたが、額については不明な点が多く計 上しておりませんでした。 （「分かりました、いいです」との声あり）
議長	小森嘉孝君 よろしいですか。ほかに質疑ございませんか。以上で、歳入の質疑 は終わります。歳入歳出全般について質疑を行います。以上で、本 案に対する質疑は終わります。お諮りいたします。議案第5号、討論省 略、採決してよろしいですか。

		(「異議なし」との声あり)
	議長	小森嘉孝君 異議なしと認めます。議案第5号について、原案に賛成の諸君の起立を求めます。
		(全員起立)
	議長	小森嘉孝君 起立全員であります。したがって、議案第5号は原案のとおり可決されました。
日程第14	議長	小森嘉孝君 日程第14、議案第6号、令和6年度遠別町介護保険特別会計補正予算(第4号)を議題とします。提案理由及び内容の説明を求めます。福祉課長小林大輔君。
	福祉課長	小林大輔君 ただいま上程されました議案第6号、令和6年度遠別町介護保険特別会計補正予算(第4号)につきまして、提案理由及び内容について御説明申し上げます。 説明(記載省略)
	議長	小森嘉孝君 これより、本案に対する質疑を保険事業勘定から行います。歳出全般について行います。1款総務費から6款諸支出金まで、8頁から9頁の2頁です。
		(「なし」との声あり)
	議長	小森嘉孝君 以上で、歳出の質疑は終わります。次に、歳入全般について質疑を行います。6款繰入金から8款諸収入まで、7頁の1頁です。
		(「なし」との声あり)
	議長	小森嘉孝君 以上で、歳入の質疑は終わります。次に、サービス事業勘定の質疑を行います。歳出について質疑を受けます。1款総務費、13頁の1頁です。
		(「なし」との声あり)
	議長	小森嘉孝君 以上で、歳出の質疑は終わります。次に、歳入について質疑を行います。2款繰入金12頁の1頁です。歳入歳出全般について質疑を行います。
		(「なし」との声あり)
	議長	小森嘉孝君 歳入歳出全般について質疑を行います。以上で、本案に対する質疑

		は終わります。お諮りいたします。議案第6号、討論省略、採決してよろしいですか。
		(「異議なし」との声あり)
	議長	小森嘉孝君 異議なしと認めます。議案第6号について、原案に賛成の諸君の起立を求めます。
		(全員起立)
	議長	小森嘉孝君 起立全員であります。したがって、議案第6号は原案のとおり可決されました。
日程第15	議長	小森嘉孝君 日程第15、議案第7号、令和6年度遠別町簡易水道事業会計補正予算(第3号)を議題とします。提案理由及び内容の説明を求めます。建設課長高田博之君。
	建設課長	高田博之君 ただいま上程されました議案第7号、令和6年度遠別町簡易水道事業会計補正予算(第3号)について、提案理由及び内容の説明をいたします。 説明(記載省略)
	議長	小森嘉孝君 これより、本案に対する質疑を行います。収益的収入及び支出について質疑を受けます。4頁から5頁の2頁です。
		(「なし」との声あり)
	議長	小森嘉孝君 以上で質疑は終わります。次に、資本的収入及び支出について質疑を受けます。6頁の1頁です。
		(「なし」との声あり)
	議長	小森嘉孝君 以上で質疑は終わります。簡易水道事業会計全般について質疑を行います。
		(「なし」との声あり)
	議長	小森嘉孝君 以上で本案に対する質疑は終わります。お諮りいたします。議案第7号、討論省略、採決してよろしいですか
		(「異議なし」との声あり)
	議長	小森嘉孝君 異議なしと認めます。議案第7号について、原案に賛成の諸君の起立を求めます。

		(全員起立)
	議長	小森嘉孝君 起立全員であります。したがって、議案第7号は原案のとおり可決されました。
日程第16	議長	小森嘉孝君 日程第16、議案第8号令和6年度遠別町下水道事業会計補正予算(第3号)を議題とします。提案理由及び内容の説明を求めます。建設課長高田博之君。
	建設課長	高田博之君 ただいま上程されました議案第8号、令和6年度遠別町下水道事業会計補正予算(第3号)について、提案理由及び内容の説明をいたします。説明(記載省略)
	議長	小森嘉孝君 これより本案に対する質疑を行います。収益的収入及び支出について質疑を受けます。3頁から4頁の2頁です。2番橋本初昭君。
	2番	橋本初昭君 それでは、管渠費の特定環境保全公共下水道管渠カメラ調査業務委託料と、増経費の特定環境保全公共下水道台帳デジタル化業務委託料のそれぞれの減額の内容といたしますか、これだけ減額になった要素・要因をお教え願います。
	議長	小森嘉孝君 高田建設課長。
	建設課長	高田博之君 こちらにつきましては、補助事業で実施しておりますので、当初、国からの配分額が減額になったことに伴って事業が少なくなるということで減額しております。
	議長	小森嘉孝君 よろしいですか。
		(「もう一回」との声あり)
	議長	小森嘉孝君 2番橋本初昭君。
	2番	橋本初昭君 今のすみません。カメラもデジタルも両方。
	議長	小森嘉孝君 高田建設課長。
	建設課長	高田博之君 基本的にカメラ調査業務と浄化センターの改修工事、あと下水道台帳のデジタル化業務、ストックマネジメント計画の策定業務が1本の

	括りになっていますので、その中で配分額を割り振っているような形になっています。ですので、全て同じ要因となっております。
議長	小森嘉孝君 ほかに質疑ございませんか。以上で質疑は終わります。次に、資本的収入及び支出について質疑を受けます。5頁から6頁の2頁です。8番白幡広喜君。
8番	白幡広喜君 建設改良費、6頁ですか。工事請負費で遠別浄化センター改修工事817万。この主な要因を教えてください。
議長	小森嘉孝君 高田建設課長。
建設課長	高田博之君 浄化センターの改修工事については、今年度最終の改修となっておりますが、屋上防水等を実施しております。その工事の執行残ということで減額となっております。
議長	小森嘉孝君 よろしいですか。8番白幡広喜君。
8番	白幡広喜君 800万というのは結構、当初より誤差が大きいと思うんですが、なぜこのように金額が膨大になっているのか、その辺も含めて。
議長	小森嘉孝君 高田建設課長。
建設課長	高田博之君 先ほど、橋本議員の質問にもお答えしたときと同じことになるのですが、配分額が今回減額になっております。ですので、事業量を減らして実施しておりますので、このような差というかになっております。
議長	小森嘉孝君 関連。2番橋本初昭君。
2番	橋本初昭君 そうすると、浄化センターの屋上防水の工事は完了していない、完了した、ちょっと答弁願います。
議長	小森嘉孝君 高田建設課長。
建設課長	高田博之君 屋上防水については今年度で完了しております。
議長	小森嘉孝君 ほかに質疑ありませんか。以上で質疑は終わります。下水道事業会

		計全般について質疑を行います。以上で本案に対する質疑は終わります。お諮りいたします。議案第8号、討論省略、採決してよろしいですか。
		(「異議なし」との声あり)
議長	小森嘉孝君	異議なしと認めます。議案第8号について、原案に賛成の諸君の起立を求めます。
		(全員起立)
議長	小森嘉孝君	起立全員であります。したがって、議案第8号は原案のとおり可決されました。
議長	小森嘉孝君	暫時休憩します。2時45分まで。
		休憩(14:25) 再開(14:45)
議長	小森嘉孝君	休憩を解き会議を再開します。先ほどの橋本議員の質問に対し、診療所事務長より答弁の訂正を求められておりますので、齊藤診療所事務長。
診療所事務長	齊藤晶夫君	先ほどの橋本議員からの御質問に対しまして、診療所会計の6款1項1目の診療所費道補助金の病床機能再編支援事業費給付金の部分でございます。この給付金につきまして、私のほうで毎年交付されるというふうに答弁のほうをいたしました。これにつきましては、病床の削減時に一度のみ交付される給付金ということで、私の答弁のほうに誤りがありましたので、申し訳ございません。また、この給付金の新規での予算設定につきましてですが、交付については当初から分かっておりましたが、交付の時期が全道的な申請の状況等によるものということで、6年度中か、または7年度中になるかということで、北海道のほうから未定ということで回答をいただいておりますので、今回、年度内で交付のめどがついたタイミングで補正をさせていただきます。大変申し訳ございませんでした。
日程第17	議長	小森嘉孝君 日程第17、令和7年度町政執行方針について、町長から発言を求められておりますので、これを許します。町長國部雅人君。
	町長	國部雅人君 令和7年度第1回遠別町議会定例会の開催に当たり町政執行に関する私の所信を申し上げ、町民の皆様はじめ、町議会議員各位の御理

解と御協力をお願いしたいと存じます。昨年10月に、町民の皆様の温かい御支援により、町政運営を担わせていただくことになり、皆様から託された重責を厳粛に受け止め、全力を挙げて町政運営に取り組んでいるところであります。本年に入り、各町内会を訪問し、タウンミーティングを開催させていただきました。皆様から様々な御意見・御要望を直接お聞かせいただいたほか、各種団体の会議や集いの場にもお招きいただき、多くの町民の皆様とコミュニケーションを取ることができたと感じております。また、職場内においても職員との面談を通して対話を重ねているところであり、私のスローガンである『「オールえんべつ」町民と共に暮らしやすい街を！』の実現に向けて一歩ずつ着実に歩みを進めているところであります。さて、世界の経済は欧米における高い金利水準の継続や中国の不動産市場の停滞継続の影響など海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、アメリカの今後の政策動向や中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響にも十分注意が必要とされていますが、景気は一部に足踏みは残るものの、緩やかに回復しているとされています。このような状況の中で、我が国の経済は長きに渡ったコストカット型経済から脱却し、デフレに後戻りせず成長型経済に移行できるかどうかの分岐点にあるとされており、賃金上昇が物価上昇を安定的に上回る経済を実現し、賃上げと投資が牽引する成長型経済への移行を確実なものとするため、日本経済・地方経済の成長、物価高の克服及び国民の安心・安全の確保を3つの柱とする国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策を決定し、その裏付けとなる令和6年度補正予算を迅速かつ着実に執行するなど、総合経済対策の効果を広く波及させていくとしています。本町におきましては、まちづくりの指針である、第6期遠別町総合計画が本年で最終年となり、新たに、第7期遠別町総合計画の策定に向けて歩みを進める重要な年となります。本町の厳しい財政事情を認識し、新たな課題に迅速かつ柔軟に対応しつつ、社会の情勢を踏まえ、新しい時代の流れを力へと転換して、町民の皆様と共に将来を見据えた、環境に優しいサステナブルなまちづくりに向かって、積極的な事業の展開を図っていきます。人口減少や少子高齢化、物価高騰の影響による産業・経済の落ち込みなど厳しい社会情勢ではありますが、遠別町の次の時代へ夢と希望を持ち、未来を見据えることができるよう、町民の皆様の声を大切に、共に歩む姿勢を基本として、安心・安全で活力ある快適なまちづくりに努めていきます。はじめに、「時代を拓く、えんべつの経済」について申し上げます。本町の基幹産業である農業につきましては、高齢化等の経営戸数が減少する中、新たな担い手の確保が喫緊の課題であります。本町の農業が持続可能な成長産業となるため、安定

した生産力の確保、高付加価値化と作業効率の向上に取り組み、魅力ある力強い農業を次世代につなぐため、関係機関と連携しながら意欲ある担い手の確保・育成に努めていきます。新規就農者や後継者対策につきましては、農業次世代人材投資事業及び農業後継者対策事業により、農業後継者の育成に取り組むとともに、新規就農者経営発展支援事業による支援を実施し、新規就農者の確保のために支援を行います。水稻・畑作につきましては、農地の効率的な活用や生産基盤の強化、条件不利地への支援を図るため、多面的機能支払交付金事業や、中山間地域等直接支払交付金事業を実施し、地域ステップアップ事業による小規模事業へ支援するとともに、農地整備事業による区画整理や暗渠排水等の基盤整備を行い、土地改良区における水利施設整備事業への支援を行います。酪農・畜産につきましては、多様化する業務体制への対応や生産意欲向上による経営安定化を図るため、畜産振興対策事業として、酪農ヘルパー事業や、酪農伝染病予防対策事業、牛群育種改良事業などへの支援を行い、生産性の向上と経営基盤の安定化に努めていきます。林業につきましては、森林の有する多面的機能が持続的に発揮されるよう、民有林整備事業等への助成を行うとともに、森林所有者の負担軽減策として原木出材の運搬経費への助成を行い、森林経営意欲の向上と資源循環型社会の実現に努めていきます。また、森林環境税の適切かつ有効な活用を図るため、森林環境譲与税の活用に向けた基本方針に基づいた森林整備の推進、路網整備や担い手確保、木材利用の推進に努めていきます。有害鳥獣対策につきましては、近年、出没が増加しているヒグマによる被害の未然防止、エゾシカ・アライウマによる農産物や森林への被害防止のため、鳥獣被害防止計画に基づき駆除を実施するとともに、減少する狩猟者確保のため、新規免許取得者に対する助成を行い、関係団体と連携した新規狩猟者の育成及び被害防止に努めていきます。水産業につきましては、遠別漁業協同組合と連携し、水産物の供給基地及び避難漁港である遠別漁港の整備促進が図られるよう要請活動等に努めるとともに、近年の海洋変化の影響により予測されているホタテ幼生付着率の激減を踏まえた漁業経営の維持・継続のための対策を考えていきます。商工業につきましては、地域の商工業活性化・消費需要喚起を目的に景気浮揚地域経済活性化対策事業として、プレミアム商品券への助成を拡充して取り組みます。高齢化等により商工業者の減少が進んでいることから、新規起業の促進及び雇用の創出による地域の産業並びに経済の活性化を図るため、起業化支援事業補助金により支援するとともに、事業承継や新たな担い手の育成・確保対策についても、商工会や関係機関と連携を密に図りながら進めていきます。また、外国人技能実習生が増加している中、安心して生活できる受入環境が必要であ

り、外国人が暮らしやすい共生社会の実現を推進するため、外国人技能実習生受入対策協議会へ支援するほか、外国人サポートスタッフの採用に取り組みます。観光につきましては、昨年リニューアルした屋内こども遊戯場・テレワーク施設とんがりかんや、隣接するランドリー施設、道の駅えんべつ富士見や、富士見ヶ丘公園等を含めて観光・交流拠点として一体的な集客施設と考えるとともに、さらなるシナジー効果を期待して試行的にドッグランを設置し、情報発信や観光PRを関係団体と連携しながら推進していきます。また、町外イベントへの参加や移住交流事業などPRを行い、遠別町の知名度アップを図っていきます。少子高齢化や転出超過による人口減少が進む中、農業・漁業・商工業をはじめとする町の将来を担う若い世代が異業種連携して活動することはとても心強い取組であり、活気あるまちづくりを創出し、地域の活性化を図るため、青年部連携地域活性化事業へ支援していきます。ふるさと納税につきましては、子供たちの健全育成や保健・福祉の充実、地域活性化や遠別農業高校の活動支援など寄附者の意思に沿って各種事業の推進に大きな役割を果たしております。ふるさと納税業務全般を委託することにより、業務の効率化と取扱事業者の負担軽減を図り、受託者とともに新たな返礼品の開発に取り組み、本町の魅力発信により積極的なPR策を講じて、寄附金の増額を目指していきます。次に、「安心できる、えんべつの街」について申し上げます。公共交通の確保につきましては、町が運行主体となり、地域住民の足を守るべく、地域住民の交通機関再生運行業務により、デマンドバス運行を継続していきます。安心して快適なまちづくりの推進を図るため、緊急度の高い町道・歩道や老朽化している橋梁の補修・整備を計画的に進めていきます。住宅環境につきましては、公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存住宅の維持管理を主とする方針へと転換し、本町団地2棟4戸の屋根張替えと外壁塗装、港団地1棟4戸の解体を行うほか、北浜団地の浸水対策工事を実施していきます。また、町民の住環境を向上のため、住宅リフォーム助成事業を継続するとともに、町民一人ひとりが地域温暖化防止に心がけ、近年の物価高騰の影響緩和策の一助として、新たに、省エネ家電購入支援事業を実施し、町民の皆様の生活支援と地域経済の活性化対策に取り組んでいきます。水道事業につきましては、水道配水管の適正な管理と業務の効率化、漏水や災害発生時の対応強化を図るため、水道管路図デジタル化を継続するとともに、老朽化している配水管や浄水場設備等の修繕を行うほか、量水器取替工事を実施し、水道設備の維持と安定的な水の供給に努めていきます。下水道事業につきましては、遠別町特定環境保全公共下水道事業計画に基づき、雨水管渠整備により雨水対策の強化を実施するとともに、下水道処理区域内の浸水対策のために下水道

台帳のデジタル化を実施し、大雨等により浸水が想定される区域を可視化するため、内水浸水想定区域図を作成し、短時間高強度豪雨等による浸水被害の未然防止に努めていきます。防災対策につきましては、IP告知端末やスマホアプリを活用した適切な防災情報等を発信し、防災力の強化・充実を図るとともに、自主防災組織運営交付金事業を継続し、自主防災会との連携を図りながら、避難行動要支援対象者の把握に努め、平常時から地域全体で目配りし、見守りにつながる意識の醸成を図り、地域防災力の向上に努めていきます。また、河川維持の緊急的な対策として緊急浚渫推進事業の対象となる、普通河川補修工事を実施します。次に、「心を大切にす、えんべつのやさしさ」について申し上げます。定住・人口減少対策として、結婚・出産祝金と乳幼児から高校生までの医療費無料化を継続し、妊産婦安心出産支援助成金として出産直前の宿泊助成を拡充するほか、母子の心身ケアと育児サポートを目的とした、産後ケア事業に取り組み、妊産婦や保護者等の負担軽減に努めるとともに、結婚から子育てまでの決め細かな支援を推進していきます。また、乳幼児の視力異常を早期発見し、適切な治療につなげることを目的として、新たに、屈折検査機器を導入します。児童福祉につきましては、幼児センター「きらり」の保育料軽減措置を継続し、子育て環境の充実と保護者の負担軽減を図り、少子化対策を推進していきます。また、幼児センター施設の維持管理と福祉避難所機能の強化対策として、外壁及びサッシ改修工事を実施します。高齢者福祉につきましては、高齢者のやすらぎの場や健康増進を図るための旭温泉高齢者入浴料助成事業とともに、通院等交通手段の支援と外出機会の創出を目的とした、高齢者バス・タクシー助成事業や、長寿を祝う敬老祝金に取り組んでいきます。感染症予防対策につきましては、インフルエンザ予防接種の一部無料化や費用助成を継続するとともに、新たに定期接種となった帯状疱疹ワクチンをはじめ、各種予防接種や健診事業等の個人負担軽減措置を行い、町民の皆様の健康維持に向けた取組を推進していきます。医療対策につきましては、昨年、国民健康保険診療所が無事開所いたしました。旧国保病院等の解体工事も完了し、新たに駐車場整備工事により周辺環境を整え、利用者の利便性向上に努めていきます。また、令和7年度から医師2名体制が確立される見込みであり、町民の皆様が安心して受診できる体制が整いつつありますが、診療体制の維持を図るため、引き続き、派遣医師の確保に取り組み、医療従事者確保のため、看護師就労奨励金制度を継続していきます。次に、「人を育てる、えんべつの学び」について申し上げます。遠別町総合教育会議を通じ、教育委員会との連携を強化し、子供たちが笑顔で学べる教育環境を推進するため、中学校建設事業として、建築主体工事及び電気設備・機械設備

工事を実施し、令和8年度の完成に向けて整備を進めていきます。また、学校教育の充実と保護者の負担軽減を図るため、小学校・中学校の補助教材購入、学校給食費の半額助成及び中学校の指定物品補助を実施するほか、スクールソーシャルワーカーを活用して児童生徒や保護者への対応を行い、課題解決を支援していきます。さらに、遠別農業高等学校教育振興会への助成を継続するとともに、新たに生徒のタブレット端末購入助成を行い、入学者の増加・維持を目指していきます。放課後学習の取組につきましては、学力向上支援事業の見直しと拡充を行うほか、教育施設長寿命化計画に基づき、生涯学習センターのエレベーター改修工事と多目的ホール客席照明取替工事を実施します。最後に、「前へ進む、えんべつのまちづくり」について申し上げます。地域力の維持・強化を図り、協働のまちづくりを推進するため、地域活性化推進事業を実施し、学校ICT教育の推進支援やIP告知端末の運用支援のほか、SNSや動画配信による町の魅力発信、移住体験事業によるテレワークやワーケーション事業に取り組み、町の関係・交流人口の増加及び移住の促進を図っていきます。行政サービスポイント事業につきましては、たま〜るカードシステムと連携し、生涯活躍のまち基本計画に基づき、検診受診や各種講座・教室への参加など社会参加と地域経済の活性化に向けて取組を推進していきます。また、昨年度から交流を再開した姉妹都市カナダ・キャッスルガー市との青少年相互訪問事業を支援し、お互いの友好を促進するとともに国際的視野の広い青少年の育成に努めていきます。さらに、人口減少や人手不足対策の一助として、外国人サポートや子どもサポート、事業承継など様々な分野において、地域おこし協力隊の活用を推進し、地域へ新しい風を吹き込み、地域の活性化を目指すため、積極的な導入方策を展開していきます。開かれた行政、町民の皆様に寄り添った行政サービスを提供するためには、町民と行政が課題を共有し、一体となって取り組むことが重要であり、そのために積極的な情報発信と情報共有が必要となります。行政情報をいろいろな形で町民の皆様に丁寧に伝え、御意見を伺うために、一過性のタウンミーティングだけで終わるのではなく、今後も様々なカテゴリーやグループでの懇談会を実施していく意向です。また、情報発信や防災機能・DXなどの強化、住民がより利用しやすい役場づくり、一次産業に対するサポートの充実などを念頭に、役場組織の機構改革を行い、新たなまちづくりを推進していきます。さらに、物価高騰対応重点支援事業として国の臨時交付金を活用し、水道基本料金の軽減と低所得世帯への支援金を給付し、物価高騰の影響による町民への生活支援策を講じていきます。以上、令和7年度に向け、主要な施策と事業につきまして、所信の一端を申し上げます。私をはじめ、職員それぞれがそれぞれ

		<p>れの立場で役割を認識し、全力で取組を進めるとともに、職員一人ひとりが広告塔となり、町のPRに努めていきます。また、かねてより心配をおかけしていた、特別養護老人ホーム「友愛苑」につきましては、現在、事業継承先の選定に向けて運営方法を含めた協議を行っているところであり、継承事業者を選定した段階で速やかに町民の皆様にご説明したいと考えています。私自身も、高齢者の皆様が安心して暮らせる施設として、この町になくてはならないものと考えておりますので、町民の皆様及び議員の各位におかれましても、より一層の御支援、御協力を賜りますよう心からお願い申し上げます、令和7年度町政運営に望む私の基本方針といたします。</p>
	議長	<p>小森嘉孝君</p> <p>以上で、令和7年度町政執行方針を終わります。</p>
日程第18	議長	<p>小森嘉孝君</p> <p>日程第18、令和7年度教育行政執行方針について、教育長職務代理者から発言を求められておりますので、これを許します。教育長職務代理、小田中紀仁君。</p>
	教育長職務代理者	<p>小田中紀仁君</p> <p>ただいま議長のお許しをいただきましたので、本来、教育長より述べるべきではありますが、教育長職務代理者小田中から令和7年遠別町議会第1回定例会の開催に当たり、令和7年度教育行政に係る基本方針について申し上げます。はじめに、人口減少や少子高齢化の進行、情報技術やグローバル化の進展など、子供たちが変化の激しい社会の中で生きていくためには、時代の変化に対応し情報を見極め、新たな価値につなげていくこと、複雑な情報変化の中で目標を再構築することができるようにすることが求められております。これらの環境変化が進む中、必要な資質・能力、探求心を育むためには、学校が社会と接点を持ち、多様な人々とのつながりを保ちながら学ぶ環境となることが望ましく、基礎的・基本的な知識・技能の習得に加え、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成や学習意欲の向上、一人ひとりの可能性を引き出す教育が求められています。子供たちを取り巻く環境では、コロナ禍を経験し、学校行事等では従来とは違う実施方法に変化している中で、人間関係の持ち方やルールを学んでいくといった社会生活の基礎を養う機会が徐々に増えてきています。また、インターネットや通信技術の発展により、教育も生活や社会の劇的な変化への対応が重要であり、情報技術が教育活動に効果的に活用されるようになった反面、氾濫する情報から必要な情報を選択できる能力の育成が求められています。</p>

教育委員会としては、「人を育てる、えんべつの学び」の基本理念のもと、学校、家庭、地域や関係機関、団体等と連携を強化し、ふるさとを愛し、町民が生涯にわたり学習できる町を目指して教育行政を推進していきます。はじめに、学校教育の推進について申し上げます。現在の学習指導要領では、生産年齢人口の減少、少子高齢化、情報技術の進展や技術革新により社会構造、雇用環境は急速に変化しており、予測困難な時代となっています。そのような中、教育課程を通じて、よりよい社会をつくるという目標を学校と地域が共有し、多様化が進む中、基礎的・基本的な知識・技術などを確実に習得させるため、地域との連携によって学校教育の実現を図ること、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間力等」を柱に、子供たちの育成を目指す資質能力を明確にすること、また、子供たちの学びそのものが主体的・対話的で深い学びの視点から授業をより良くしていくことなどが示されております。教育委員会としても、地域とともにある学校づくりを目的とした学校運営協議会の機能を十分発揮し、学校運営に地域の声を積極的に取り入れ、地域と一体となった学校教育を推進してまいります。学力向上の取組として、既に小学校から外国語教育が始まっており、より一層外国語教育の充実を図るため、英語指導助手を活用し、英語を通じた国際理解教育の向上と実践的コミュニケーション能力を養うことを目的に、効果的に授業が実施できるよう環境づくりに努めていきます。子供たちの特性や学習進度などに応じた、複数教員によるチームティーチングなど、学力向上を目指した授業改善を積極的に行い、きめ細やかな学習指導に努め、特別支援教育支援員の配置を継続し、児童生徒の学力向上に向けた取組を進めていきます。

また、全国学力・学習状況調査結果の活用・分析を進め、学習指導の改善・充実に向けて、教職員が一丸となった取組を支援し、楽しく学べる環境づくりや、地域の教育資源を有効に活用した学習の継続に努めるほか、いじめの未然防止の取組を充実させるとともに、不登校等の解消等をはじめとして、様々な問題に対応するため、スクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒や保護者の課題解決を目指します。また、補助教材費の助成及び中学校指定運動着、カバンの購入費の助成も継続いたします。ICT教育については、これまで1人1台端末利用やネットワーク環境が整備され、デジタル教材の活動やオンライン授業が推進されてきましたが、これからは、次の時代へと変化していくことが予想され、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現のため、新しい技術や学習方法など、学校ごとに異なる課題やニーズに合わせ

I C T機器を有効に活用し、授業を楽しみながら効率的な学習を進めることが重要です。教職員個々のI Tスキルの差や端末利用時における授業での活用法など、いまだ様々な課題が残されていることから、I C T支援員と協力し、教職員のスキルアップを含めて支援をしていきます。感染症対策については、その時々で適切な対応が求められており、持続的に児童生徒の教育を受ける権利を保障していくため、「学びを止めない教育」を着実に実行し、学校運営を継続していく必要があります。引き続き、学校行事の在り方やI C T技術など、情勢と対策を考慮し学校の運営に努めていきます。また、中学校における部活動地域移行については、国や北海道の指針のもと、地域人口の減少、部活動指導者等の人材確保等の問題もあるため、引き続き検討委員会等で検討を進めてまいります。働き方改革関連では、遠別町立学校における働き方改革アクションプランに基づき、学校行事や部活動の在り方、学校業務の効率化等、学校のより一層の働き方改革推進のため、校務支援システムを導入しており、朝の打ち合わせや日々の諸連絡等を簡略化するとともに、教職員のストレスチェックを実施し健康保持に努め、業務改善及び事務の軽減を図り、円滑な学校経営を目指します。学校施設については、遠別町教育施設長寿命化計画に基づき、長期的かつ継続的に維持保全し、定期的に適切な改修等を行っていきますが、臨時的に必要な修繕につきましては、日常点検を強化し、優先度が高いものから修繕を実施し、学びやすい環境を整備いたします。遠別中学校校舎改築については、中学校建設基本構想を基にした実施設計のもと、建設工事がスタートし、建設工事が順調に進むよう努めていきます。学校給食については、適切な衛生管理により、施設・設備等の保全、効率的な調理業務、さらにはアレルギー体質児童生徒への対応など、安心して安全な学校給食の提供に努めていきます。また、機器の修繕等についても適宜進めてまいります。遠別農業高校の支援については、令和7年度の当初の入学願書受付数は17名となっており、昨年と比べ4名の増となりましたが、今後も教育振興会、高校、行政、教育委員会が一体となった生徒募集活動及びP R活動を継続し、入学者数の確保に努めていきます。また、遠別農業高校の各種活動の情報発信を積極的に行い、学校の特色を活かした魅力ある学校づくりを支援いたします。次に、社会教育の推進について申し上げます。生涯にわたって学び続けることは、豊かで充実した生活を送ることにつながりますが、町民による主体的な活動を、発掘・支援、生涯の学びの場を提供することにより、生きがいのある人生を送っていただくことは、活気あるまちづく

りに必要なことでもあります。高度情報化、国際化、ICT技術の進展など社会の急激な変化への対応や環境問題など現代的課題に対応するとともに、国内交流などの古きを重んじ、新しきを得ると言った先代の苦勞を理解し、新しい知識や技術を楽しみながら学べるよう、生涯学習の推進に努めていきます。学習事業については、関係機関・団体との連携により、子供たちの健全育成を目的とし、楽しみながら学習体験や自然体験ができるよう、効果的な学習プログラムを提供していきます。さらに、高齢者の学びの場として、しらかば学園大学等、高齢者の仲間づくりの場を提供するとともに、個人や親子が自ら参加し学べる機会の提供に努めていきます。社会教育団体が主催するイベント及び事業については、事業の企画、実施、評価、改善など、事業等が効果的に運営され、現代にあった事業の実施方法を見つめ直しながら、目的が達成させるよう適切な支援に努めていきます。文化の振興については、町民一人ひとりがいきいきと活動できる機会の充実と、その成果の発表の機会をつくり、文化活動を積極的に推進いたします。また、子供たちに優れた芸術文化に親しむ機会を提供し、豊かな心の育成を図るとともに、本町の伝統継承のため、郷土芸能の育成・保存についても継続して支援いたします。読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにするものであり、生きる力を身につけていく上で欠くことができないものであります。その拠点となる図書室の利用拡大を目指し、町民のニーズに対応した蔵書の整備を行い、利用しやすい図書室の運営に努めていきます。遠別町生涯学習センター「マナビィ・21」が建設より27年が経過し、老朽化によるエレベーターの取替工事や、多目的ホール客席照明機器取替工事を進めてまいります。スポーツの振興については、心身の健全な発展と健康で豊かな生活を送るため、生涯にわたってスポーツに親しむことが大切です。そのため、遠別町スポーツ協会と連携し、各種スポーツ団体の定期活動の充実を図るほか、子供たちが様々なスポーツを体験する機会の提供や、子供から高齢者までの健康増進や町民の体力向上の拡充に努め、仲間づくり、スポーツを通じた健康増進等を推進します。スポーツ施設については、点検等を強化し、安心してスポーツを楽しむことができるよう、適切な管理運営を行います。以上、教育行政の執行に関する基本方針を申し上げましたが、「人を育てる、えんべつの学び」を実践するため、町民一人ひとりが生涯にわたって学び続けることができるよう努めるとともに、現代社会ではモラルの低下、青少年の凶悪犯罪やいじめ・不登校など、

		<p>社会と教育は深刻な危機に直面しており、遠別町の特徴を活かした教育活動を推進することにより、学校と地域が共同で、子供たちが笑顔で輝ける教育行政を着実に進めていきますので、町民の皆様並びに議員の皆様の御支援と御協力を賜りますようお願いし、教育行政執行方針といたします。</p>
	議長	<p>小森嘉孝君</p> <p>以上で、令和7年度教育行政執行方針を終わります。</p>
日程第19	議長	<p>小森嘉孝君</p> <p>日程第19、令和7年度遠別町各会計予算案の概要について副町長から発言を求められておりますので、これを許します。なお、説明については、簡潔にお願いします。副町長富士原栄治君。</p>
	副町長	<p>富士原栄治君</p> <p>議長のお許しをいただきましたので、令和7年度各会計予算案の概要について申し上げます。なお、議長から簡潔にとの指示でございますので、要点をまとめて申し上げます。令和7年度の我が国の一般会計予算は、115兆5,415億円、前年度当初予算比2兆9,698億円増額、2.6%増の予算となっております。このほか、東日本大震災の復興予算を管理する復興特別会計は、被災地の復興に必要な取組を着実に進めるため、6,592億円が計上されています。令和7年度の地方財政の歳入歳出規模は、97兆100億円程度となる見込みで、このうち地方公共団体に交付される地方交付税の総額は、18兆9,574億円となっております。地方財源の不足に対処するための地方債計画については、その規模は9兆885億円で、このうち、辺地及び過疎対策事業債は、前年度から225億円増額の6,490億円、地方財源の不足に対処するための臨時財政対策債の発行はなしとなっております。また、地方公共団体が喫緊の課題である防災・減災対策の取組に対し、緊急防災減災事業債5,000億円、令和7年度以降も緊急に河川等の浚渫を実施できるよう、緊急浚渫推進事業債1,100億円、地域脱炭素の基盤となる重点対策に、脱炭素化推進事業債900億円、令和7年度からデジタル活用推進事業債を創設し、行政の効率化、地域の課題解決等を加速するため、900億円計上しております。遠別町の令和7年度予算は、国の地方財政計画をもとに、本町の厳しい財政事業を認識し、新たな課題に迅速かつ柔軟に対応しつつ、『「オールえんべつ」町民と共に暮らしやすい街を！』をスローガンに、住民との対話を大切にし、人口減少や少子化対策、地域医療の強化、積極的な情報発信などにより、持続可能な町とするための予算編成を行いました。</p>

た。以下、予算案に即して説明申し上げます。令和7年度の予算規模は、一般会計60億1,500億円、国民健康保険特別会計4億264万6,000円、国民健康保険診療所特別会計5億1,923万2,000円、後期高齢者医療特別会計5,847万1,000円、介護保険特別会計3億5,844万2,000円、簡易水道事業会計2億3,183万5,000円、下水道事業会計3億5,359万3,000円、以上7会計の合計額は79億3,921万9,000円であります。予算総額は、前年度当初予算と比較すると、14億9,521万1,000円、23.1%の増額となっております。次に、歳出の説明をいたします。毎年度予算に計上しています計上の経費につきましては、説明を省かせていただき、以下、主な事業について概要の説明をいたします。「時代を拓く、えんべつの経済」として、林業振興対策では、町有林造林及び保育事業2,066万9,000円、森林環境譲与税利活用事業2,409万4,000円、農業振興対策では、多面的機能支払交付金事業4,032万6,000円、新規就農者経営発展支援事業1,050万円、農業振興センター屋根改修事業780万円、商工業対策では、プレミアム商品券発行事業900万円、青年部連携地域活性化事業250万円、屋内こども遊戯場・テレワーク施設「とんがりかん」の管理経費1,546万5,000円を計上しました。「安心できる、えんべつの街」として、町道の路面・歩道の補修、区画線引き及び側溝補修工事2,800万円、橋梁長寿命化修繕事業1億2,120万円、普通河川補修工事1,500万円、消防・防災拠点である北留萌消防組合負担金1億2,342万4,000円、省エネ家電購入支援事業補助金140万円、公営住宅長寿命化改善工事2,100万円、公営住宅浸水対策工事1,430万円、住宅リフォーム助成事業1,000万円、地域住民の交通機関再生運行業務2,186万2,000円を計上しました。「心を大切に作る、えんべつのやさしさ」として、結婚・出産祝金440万円、子ども医療給付費800万円、ふるさと納税を活用した学校給食負担金の半額助成、屈折検査機器導入173万円、妊産婦安心出産支援助成金84万4,000円、産後ケア事業78万円、感染症予防対策として、インフルエンザワクチンについては、ゼロ歳から中学生及び65歳以上の高齢者の無料化、16歳から64歳までの方は接種費用の助成を継続し、おたふくかぜ、子宮頸がんワクチン、新型コロナワクチン、新たに定期接種の対象となった带状疱疹ワクチン341万9,000円を含め、予防接種技術援助委託料1,727万7,000円、定期予防接種費用助成金110万9,000円、旭温泉高齢

者入浴料助成事業520万円、高齢者バス・タクシー助成事業280万円、敬老祝金237万円、幼児センターの外壁及びサッシ改修工事2,210万円を計上しました。「人を育てる、えんべつの学び」として、遠別中学校建設事業18億8,648万3,000円、補助教材購入補助金144万8,000円、中学校指定物品支給対象補助金75万4,000円、北海道遠別農業高等学校教育振興会補助金3,333万6,000円、次世代多目的交流センター管理運営経費2,434万4,000円、学力向上支援業務委託料385万円、スクールソーシャルワーカーの配置に125万4,000円、生涯学習センターエレベーター改修工事3,000万円、生涯学習センター多目的ホール客席照明取替工事3,460万円を計上しました。「前へ進む、えんべつのまちづくり」として、地域活性化推進事業827万2,000円、行政サービスポイント事業150万円、様々な分野での地域おこし協力隊人件費1,784万円、地域おこし協力隊活動費等補助金1,000万円を計上しました。以上が一般会計歳出予算案の概要であります。これらに対する歳入の概要につきまして説明申し上げます。町税は、前年度から減額の総額3億662万2,000円、地方交付税は、地方財源の確保を適切にするという国の財政計画をもとに、過大な見積りをすることのないように、24億1,000万円、国庫支出金・道支出金は、合わせて10億2,627万6,000円、繰入金は財政調整基金、公共施設等整備基金、まちづくり応援基金など、使用目的に合わせて総額2億8,328万1,000円、町債は、遠別中学校建設事業、橋梁長寿命化事業等により15億4,920万円を計上しました。続いて、特別会計の予算案について御説明申し上げます。国民健康保険特別会計について、予算総額を4億264万6,000円と定め、対前年度比8.5%の上額となりました。国民健康保険診療所特別会計については、予算総額を5億1,923万2,000円計上しました。令和7年度から医師2名体制が確立され、町民が安心して受診できる体制が整いつつありますが、診療体制維持のため、派遣医師確保に会計年度任用職員報酬1億3,769万6,000円、駐車場整備工事に4,180万円を計上しました。入院外来の収入は、年間入院患者数を2,555人、外来患者数は9,720人を見込み、一般会計繰入金を2億6,768万5,000円とし、収支均衡を図りました。後期高齢者医療特別会計については、予算総額を5,847万1,000円計上し、対前年度比1.7%の上額となりました。介護保険特別会計については、第8期介護保険事業計画及び前年度の給付金実績等を勘案し、予算総額

		<p>を3億5,844万2,000円と定め、対前年度比0.7%の増額となりました。それぞれの事業勘定予算は、保険事業勘定3億4,913万7,000円、介護サービス事業勘定930万5,000円となります。簡易水道事業会計については、水道管路図デジタル化業務委託料300万円、浄水器取替工事800万円など、収益的収入及び支出の3条予算と、資本的収入及び支出の4条予算を合わせて、予算総額は2億3,183万5,000円となり、4,087万円の赤字予算としました。最後に、下水道事業会計については、雨水管渠布設工事600万円、下水道台帳デジタル化業務委託料2,000万円、内水浸水想定区域図作成業務委託料1,000万円、個別排水処理施設設置工事900万円を計上し、収益的収入及び支出の3条予算と、資本的収入及び支出の4条予算を合わせて、予算総額は3億5,359万3,000円となり、3,833万2,000円の赤字予算としました。以上、令和7年度各会計予算の概要につきまして説明いたしましたが、詳細につきましては予算審議の中で明らかにしていきたいと存じます。予算の執行に当たりましては、厳しい財政環境を認識し、遠別中学校建設事業費が増嵩する中、町民へのサービスが低下することなく、効率的な財政運営に最善の努力を傾注する所存であります。町民の皆様と議員各位の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます、令和7年度各会計予算案の概要説明とさせていただきます。</p>
	議長	<p>小森嘉孝君</p> <p>以上で、令和7年度遠別町各会計予算案の概要についてを終わります。</p>
散会	議長	<p>小森嘉孝君</p> <p>以上で、本日の議事日程は全部終了しました。これにて散会します。なお、明日11日は午前10時開会でありますので、時間までにお集まり願います。本日は御苦労さまでした。</p>